

制限の撤廃▽各種支援
制度の周知徹底―など
を要請しました。

「ひとり親世帯」が3
回調査時は94人（全利
用者177人）、4回
時は66人（同157
人）にのぼりました。

「パート・アルバイト」
などの非正規労働
者が過半数を占める一
方で、正規労働者も毎
回2割ほどいました。

第3回調査では、失業
した55人のうち29人が
雇用保険に加入でき
ず、失業手当がないと
回答しています。

大学院生の田村遠さ
んは「労働規制のせい
弱さと生活保障制度の
不備が明らかにになりま
した」と話しました。

利用した4人のシン
グルマザーの聞き取り
をした大学生の富永華
衣さんは「3人が正規
で働いていたのに生活
が苦しいのは、女性が
一人で自分と子どもの
生活を維持することが
今の日本社会では非常
に困難になっている証
拠だ」としました。

同じく大学生の茂木
楓さんは「労働や生活
の問題について、声に
しづらい人の声を可視
化する取り組みにして
いきたい」と述べまし
た。

会見に先立ち厚労省
に、最賃1500円▽
週20時間以下の労働者
に雇用保険を拡大する
▽児童手当などの所得

7/23 5-74

“生活維持 非常に困難”

首都圏ユニオンフードバンクで調査

首都圏青年ユニオン
は22日、厚生労働省で
記者会見し、フードバ
ンク利用者へのアンケ
ートで把握した労働や
生活実態を報告しまし
た。学生組合員を中心
にこれまでに5回開催
しており、東京・大塚
で行った4回分の調査
結果を発表しました。
のべ554人が来場
し、男性19・9%（1
10人）、女性は78・
9%（437人）で女



フードバンクでのアンケート
結果を報告し、労働規制の強
化と社会保障制度の拡充を求
めた会見＝22日、厚生労働省

性の割合が顕著に高く
なっていました。子育
て世代の利用も多く、